

# 擔保附社債信託法案特別委員會會議事速記録第二號

明治二十八年二月四日(土曜日)午前十時二十九分開會

○委員長(子爵岡部長職君) 是ヨリ開會イタシマス

○馬屋原彰君 前回以來、條ヲ限リテ質問シテ行ケト云フコトノ方針ニナリテ居リマスガ、前ニ立戻リマシテ此全體ノ事ニ付テ政府委員ト一層精シク御相談シテ見タイデスガ、此際速記ヲ御止メニナル方ガ却テ便利ダラウト思ヒマス

○委員長(子爵岡部長職君) 速記ヲチヨット止メテ……

(速記中止)

○委員長(子爵岡部長職君) 是ヨリ速記ヲ始メマス

○名村泰藏君 信託會社ハ銀行事業ヲ兼ネルコトガ出來ルト云フコトガアリマスルカラ、若シ信託會社ガ破産ヲシタトキニハ、銀行事業モ破産ヲシナケレバナラヌカト云フコトヲ昨日御尋シマシタラ、信託會社ガ破産ヲスルトキニハ銀行モ破産ヲシナクテハナラヌト云フ御答デアリマシタガ、信託會社ガ命令ニ背イテ解散ヲ命ゼラレタトキニハ銀行ニ於テハ少シノ瑕瑾モ無イ場合ト雖モ矢張り銀行ハ銀行事業モ解散ヲシナクテハナラヌモノデアリマセウカ、其邊ヲ御尋フシマス

○政府委員(平沼驥一郎君) 信託會社ガ銀行事業ト信託事業ト兩方ヲ兼ネテヤツテ居リマスル場合ニ、信託事業ノ方ノ失敗ニ基キマシテ破産ヲ致シマスルト、斯ウ云フコトニナリマスレバ、假令此銀行事業ノ方ニ付テ過失ハゴザイマセヌデモ、是ハドウモ解散ヲセザルヲ得ナイト考ヘマスル、詰リ會社ハ一ツデゴザイマスルカラ、或ル點ニ於キマシテ破産ヲシテ解散スル、他ノ點ニ於テハ殘リテ居ルト云フコトハドウモ是ハ出來マセヌコト、考ヘマス、ツレカラ命令テ解散ヲ致シマスルト云フ場合、此場合モ其解散ヲ命令スルト云フコトニナリマスレバ、其會社ニ對シマシテ解散ヲ命ジマスノデ、信託事業ナラ信託事業ノミニ關シテ解散ヲ命ズルト云フコトハ先ヅ起テ參リマセヌノデス、解散ヲ命ズルト云フコトニナリマスレバ會社ハ全部解散シナケレバナラヌ、斯ウ云フ結果ニナリマス、念ノ爲ニ加ヘテ申シテ置キマスガ、此免許取消ノ場合デアリマス、免許取消ノ場合ニ於キマシテハサウ云フ結果ニハナリマセヌ、信託事業ニ關シマシテ主務官廳ハ免許ヲ與ヘマシテ、主務官廳ガ其免許ヲ取消シマス、斯ウ云フ場合ニハ唯將來其信託事業ヲ行フコトガ出來ナイ、斯ウ云フ結果ニナリマスノデ、銀行事業ノ方ハ繼續ヲ致シマシテモ一向差支ハ無イノデゴザイマス、其場合ニハ免許ノ取消ハ解散ノ命令ニハナラナイ、唯信託事業ガケヤツテ居リマス場合デアリマスルト、信託事業ニ關シマシテ免許ヲ取消シマスレバ當然其會社ガ解散ヲスル、斯ウ云フコトニ歸著イタシマス

○松岡康毅君 私モチヨット伺ヒタイガ、此七條ニ會社ノ資本ト云フモノハ「百萬圓ヲ下ルコトヲ得ス」トアリマスガ、是ガ銀行業ヲ兼ネルトキニハ銀行ノ資本ハ無論、百萬圓ヲ餘計ニスルト云フコトニナリマスガ、若クハ百萬圓ノ銀行デアレバ別段資本ヲ増サズトモ信託會社ノ資本ト看做スコトヲ得ルト云フ譯ニナリマスガ

○政府委員(平沼驥一郎君) ソレハ銀行信託事業ヲ兼テ行ヒマスル場合ニハ、其

銀行ノ資本ハ百萬圓ト致シマスレバ、別ニ資本ヲ増スト云フコトハ要ラナイ、斯ウ云フ趣意デアゴザイマス

○松岡康毅君 サウシテ見マスルト、例ヘバ百萬圓ノ銀行ガアツテ、其銀行ハ年々歳々貸借對照表ヲ公ケニスル所ヲ見レバ、丁度相見合ッテ居ル、所謂對照ガ出來テ居ル、ツレデ銀行ガケノ……一個ノ銀行トシテ他ニ格別非難スルコトモ無ク不都合モ無イヤウナモノデアレバ、別段ニ資本ヲ増サズトモ信託事業ハ出來ルコトニナリマスガ、詰リ貸借對照表ヲ見レバ相見合ッテ居ル、併シ百萬圓カ百五十萬圓ノ銀行ニハ違ヒナイ、ツレガ信託事業ヲ營マウト云フトキニハ更ニ別段資本ヲ要シナイ、從來貸借方が見合ッテ居ルケノ資本テ宜シイト云フコトニナリマスガ

○政府委員(平沼驥一郎君) 結局サウ云フコトニナリマス

○馬屋原彰君 今ノ名村君ノ御質問ニ關係シタコトデアリマスガ、今ノ銀行事業ヲ兼務シテ居ル場合解散等ノコトニ付テハ能ク分リマシタガ、此十二條ノ場合デアリマスガ、此事業ノ停止ト云フノハ銀行ガ信託事業ヲ兼務シテ居ル場合デアリマシタトキニデスナ、此十二條ニ當ルヤウナ場合テ事業ヲ停止スルトキハ即チ信託事業ガケテ其本業ノ銀行事業ト云フモノニハ固ヨリ影響ヲ及ボスマイカト察セラレマスガ、サリナガラ取締役ノ改選ト云フコトガアル、ツレデ銀行事業ヲ本務トシテ傍ラ信託事業ヲ兼務スル者ナラバ矢張り銀行其モノノ本業ノ上ニ付テハ重役デアラウ、其一部ノ兼業ノ上ニ付テ不信用ノ爲ニ詰リ官ノ命令ヲ以テ行政廳ノ命令ヲ以テ取締役ノ改選ヲサセルコトハドウデアラウカ、隨分銀行其モノ、本務ノ方ニハ餘ホド關係ヲ持タウガ、本務ノ方ニハ餘ホド信用アリ餘ホド熟練シタル者アル、然ルニ信託事業ノ爲ニソレヲ改選シナケレバナラヌト云フコトニナルト、本務ノ方ニモ多少不利益ノ結果ヲ起シハシマイカト云フ感シモアリマスガ、其邊ハドウナリマスガ

○政府委員(平沼驥一郎君) ソレハ銀行事業ト信託事業ヲ兼テ居リマスル場合ニ信託事業ノ方ノヤリ方ガ善クナイ爲ニ銀行事業ノ方ハ隨分能クヤツテ居ルケレドモ、其取締役ヲ改選スルト云フ場合ハ無論起テ參リマス考ヘマス、併シツレハ事實ノ上カラ申シマシタラ 如何ナモノデアリマセウカ、先ヅ信託事業ト申シマシテモ銀行業ト申シマシテモ性質ハ能ク似タモノデアリマス、ツレデ銀行事業ノ方ハ餘ホド巧クヤツテ居ルガ、信託事業ノ方ハ杜撰ナヤリ方ヲヤツテ居ル、マア斯ウ云フ事ハ一ノ會社ト致シマシテ滅多ニ無イコトデアアラウカト思フ、ツレカラ又サウ云フ事實ガアルト致シマシタ所ガ、ドウモ事業ノ一部分ニ付テ非常ニ惡ルイヤリ方ガアリマシタナラバ、ツレハ公益上外ノコトハ能クヤツテ居ルト云フコトガゴザイマシテモデスナ、公益上必要ト認メマシタナラバ改選ヲ命ジナケレバナラヌ場合ハ、隨分起テ參リマセウト考ヘマス、御問ヒノ點ハ能ク了解イタシマシタガ、此十二條ハサウ云フ趣意ヲ置キマシタ

○委員長(子爵岡部長職君) 大體ニ付テノ御質問ハ是デ止メテ逐條ノ質問ニ移リ

マセウ、第六章社債権者集會、第四十八條ヨリ五十五條マテ行キマセウ

○富井政章君 私ハ第五十二條ニ規定シテアル決議法ニ付テチヨット伺ヒタイ、是ハ  
餘ホド重大ナ事柄デアルト思フ、私ハ決シテ反對ノ主意ヲ以テ伺フノデアライ、自分ハ大  
イニ感フテ居ルノデアリマス、原案ニ定メテ決議法ハ最モ簡略ナ決議法デアルト思ヒマス、  
「行使セラレタル議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス」ト、サウシテ但書ニ規定シテアル稍々重  
大ナ場合ニ於テモ、唯總議決權ノ過半數ガ行使セラレタルヲ以テ足レリトスルト云フコト  
ニナツテ居リマス、是デハ多數ノ爲ニ少數ガ壓セラレ易イト云フ懸念ガアリハシナイカト氣遣  
フノデアリマス、即チ普通ノ場合ニ於テハ社債ノ總額カラ見レバ其一小部分ニ當ル社債  
權者ガ出席スレバ宜イ、頭數カラシテモ少數ガ出席スレバ宜イ、サウシテ一名デモ多數デ  
アレバ、ソレデ極マルト云フコトデアル、是ハ少シ簡略デハナイカト思フ、例ヘバ商法第二百  
九條ニ規定シテアル場合、少シ鄭重過ギルカハ知りマセヌガ、總株主ノ半數以上、頭數  
カラ云フテモ半數以上出席セネバイカヌ、サウシテ資本ノ半額以上ノ株主ガ出席セネバナ  
ラヌ、斯ウ云フ事ニナツテ居ル、今少シ鄭重ニシテ、例ヘバ此但書ノ要件ヲ普通ノ要件ト  
シテ、サウシテ但書ノ場合ヲ更ニ四分ノ二トカ云フヤウナ割合ニシテ方ガ宜イノデハ無カラ  
ウカ、私ハサウ云フ定見ヲ持ツテ居ルト云フ譯デハ無イノデスガ、甚ダ感フテ居ル、是デハ  
何ダカ簡略ニ失スルト云フ懸念モ起ルノデアリマス、ソコデ伺ヒタイノハ原案起草者ニ於  
テハドウシテモ是デナクテハ不便デアルト云フ確信ヲ以テ斯ノ如ク御極メニナツタノデアルカ、  
矢張り政府ノ意見ハドウ云フモンデアラウカト御感ヒニナツテ先ツ此方ガ宜カラウト云フ  
位ナ考デ斯ウ極メラレタノデアルカ、何ト云フテ宜イカ、確信ノ程度ヲ伺ヒタイノデアリマス、  
ソレカラ外國ノ立法例ナドガアレバ、ソレハドウ云フ風ニナツテ居ルカ、御調べニナツタコトガ  
アレバ序デ伺ヒタイ

○政府委員(平沼騏一郎君) 誠ニ政府委員ノ窮シマス御質問デゴザイマスルガ、富  
井サシノ御話ノ通り此點ニ付キマシテハ起草ノ際ニモ種々考ヘマシシ、又隨分感ヒマシテ  
結局五十二條ノヤウナ規定ヲ置クニ至リマシタノデゴザイマス、此社債権者集會決議ニ  
關シマスル事ト、商法ノ株主總會ノ決議ニ關シマス事ト比較ヲ致シマス、今御話ノ通  
リ非常ナ差ガゴザイマス、社債権者集會ノ方ハ鄭重ニシテアリマス、此五十二條ノ規  
定ハ簡略ナ規定ニ相成テ居リマス、之ニ付キマシテハ全ク理由ノ無イノデハゴザイマセヌ  
デ、種々考ヘマシタ上、斯ウ云フ事ニ致シマシタ、其理由ハ先ツ第一ニ此社債権者集會  
ノ決議ノ方ハ餘ホド簡便ニ致シマセヌト不便デアラウ、ソレデ此決議權ヲ行使イタシマ  
ス方法ニ付キマシテモ自分デ必ズ出席セヌデモ宜イ、代理デモ出來ル、是ハ株主總會モ  
同ジデスガ、其外ニ書面デモ決議權ヲ行テ宜イト、斯ウ云フ風ニ決議權ヲ行フニ付テハ  
餘ホド便利ナ方法、且又簡易ナル方法ヲ設ケテ置キマシタノデゴザイマスカラシテ、各債  
權者ガ決議權ヲ行フト云フコトニ付キマシテハ隨分容易ニ出來ルコトニナリマセウ、ソレ  
ニ拘ラズ決議權ヲ行ハナイ、斯ウ云フノデアリマス、其意思ヲ考ヘテ見マシレバ先ツ決  
議ニ加ハラヌデモ宜イ、其問題ハドチラニナツテモ宜イト是グラ井ナ考カラヤルモンデアラウ  
ト斯ウ一應見ルコトモ出來マス、ソレニ付キマシテハ此社債権者ト云フモノハ自分ハ委託  
會社ニ對シマシテ直接ニ債權ヲ持ツテ居リマスルカラシテ、自分ニ利害關係ガアルト見マ  
スレバ其決議權ノ行使ヲ怠ルト云フ場合ハ今ノヤウナ意思デアリマセヌケレバ餘ホド稀デ

アラウト考ヘマス、ソレカラ次ニ社債権者集會テ決議イタシマス事柄ト云フモノハ商法ノ株  
主總會ノ決議ニ依リマシテ極メマスル事柄ニ比シマスレバ先ツ簡略ナ事ガ多イノデアリマ  
ス、結局ハ總債権者ノ利益ノ爲ニ或ル事ヲ行フト云フ場合ニ付テ此必要ハ起リマス、此  
社債権者ノ間ニ於キマシテ利害ガ大ニ衝突スルト云フヤウナコトハ先ツ少イデアラウト思  
ヒマス、株主總會デアリマスレバ、或ハ定款ノ變更ト云フ所マデモ參リマスカラ、隨分株  
主間ニ於テ利害ノ衝突ハ屢々起リ、實例ニ於テモ屢々見ル所デアリマス、社債権者集會  
ニナリマス、多少ノ利害ノ衝突ハ起リマセウガ、大體ハ先ツ總社債権者ノ利益ニナル事  
柄ヲ決議スルノデアリマスカラ、ソシテ重大ナ利害ノ衝突ト云フモノハ起ルカト思ヒマ  
ス、斯ウ云フ考デゴザイマス、ソレデ先ツ是等ノ點ヲ比較イタシマシテ、寧ロ面倒ナト云フ  
ヨリモ簡易ニ過ルト云フ此方ノ方法ヲ執リマシタガ至當デアラウト云フ考カラ斯ウ致シマ  
シタ、併ナガラ此點ニ付キマシテハ各位ノ御意見ヲ充分ニ承リタイノデゴザイマシテ、其御  
意見ヲ承リマシタ上、政府ハドコノマデモ五十二條ノ規定ハ固執セネバナラヌト云フ  
マデノ確信モ持ツテ居リマセヌ、タゞ唯今ノ所デハ先ツ是デ宜カラウト云フ考デゴザイマス

○男爵吉川重吉君 唯今政府委員カラノ御話テ御書面ヲ以テ決議權ヲ以テ行使ス  
ルト云フコトニナルト云フコトデゴザイマシタガ、誠ニ簡便ナ話デ、餘ホド決議權ノ行ヒ易イ  
ト云フコトニナラウト思ヒマス、是ハ我々一見イタシマシタ所デハ誠ニ宜シイ方法ノヤウニ  
考ヘマスルガ、是マデ他ニ斯ウ云フ事ガアルノデゴザイマスカ、又若シ無イトスレバドウ云フ  
譯デ無イノデゴザイマセウカ、何カ他ノ商法ヤ何カデハ不便ナコトガアルノデゴザイマセウカ  
○政府委員(平沼騏一郎君) 此點ニ付キマシテハ民法ノ規定即チ公益法人ノ場合  
ニハ矢張り書面テ決議權ヲ行使スルコトノ出來ルコトニナツテ居リマス、商法ノ方デハ書  
面テ決議權ヲ行使スルト云フ規定ハゴザイマセヌ、是ハ法典起草ノ時ニハ果シテドウ云フ  
考デゴザイマシタカ、私カラハチヨット正確ナ御答モ出來マセヌガ、詰リ商法ノ方ノ株主總  
會デゴザイマスルト、重大ナ關係ヲ各社員ニ及ボスコトデゴザイマスルカラ、ソレデ商法ノ方  
ハ鄭重ニシタモノデアラウト私ハ考ヘテ居リマス、ソレカラ先刻富井サシカラ最後ノ御質問ノ  
外國ノ事例ノコトデゴザイマス、是ハ英米ノ法律ニ付キマシテ取調ベテ置キマシタガ、英米  
ノ法律デアリマスルト、先ツ普通ノ場合ニハ決議權ハ過半數テ決スルト云フコトニナツテ  
居リマス、ソレカラ特別ノ場合即チ信託證書ニ明記イタシテアリマスル場合ニハ、決議權  
ハ四分ノ二ト云フコトニ大體ナツテ居リマス

○穂積八束君 此案ヲ逐條ニ涉シテ讀ンデ行ッたら分ルデセウガ、甚ダ勞ヲ各ムヤウデス  
ガ、チヨット簡單ニ出來ルナラバ債権者集會ト云フモノ、決議權ノ範圍……如何ナル事  
ガ決議ノ出來ルト云フ事カ、簡略ニ説明ハ出來マセヌカ、尤モ信託契約ニ定メタル事ニ  
依ルト云フヤウナコトデアルカ、或ハ此法律ニ於テ是ダケノ事ハ債権者集會テ出來ルト云  
フコトガ列記シテ極ツテ居リマスカ、ドウデスカ

○政府委員(平沼騏一郎君) 信託契約ニ定メマスル場合ハ各信託契約ニ定マリマ  
スガ、其外ニ此法律ノ中ニ社債権者集會ガ決議ヲセヌナラヌ場合ガ定メテゴザイマス、ソ  
レハサウ餘計モゴザイマセヌカラ、チヨット茲デ御話シイタシマス、此十五條ノ第二項ノ場  
合、是ハ清算人ノ選任ヲ主務官廳ニ請求イタシマスル場合、ソレカラ第六十四條、是ハ  
社債権者集會代表者ヲ選任イタシマスル場合、ソレカラ第六十七條、ソレカラ七十

九條、八十一條、八十二條、八十五條、八十六條……

○穗積八束君 サウスレバ和解ナドモ出來ルノデスナ

○政府委員(平沼騏一郎君) 左様デス……ソレカラ八十九條デゴザイマス、ソレカラ九十四條、九十七條、九十九條、ソレナモデゴザイマス

○穗積八束君 チョット引續イテ伺ヒマス、唯今ノ富井サンノ御注意ノコトニ付テ私モ懸念シテ居ルノデアリマスガ、債權者集會ト云フモノガ其擔保物ノ變更モ許ストカ、ソレカラ擔保物ノ増減モ許ストカ、或ハ不履行ノ場合ニ於テ其責任ヲ免除スルコトモ出來ルトカ、或ハ債務者ト和解モスルコトガ出來ルトカ云フコトニナルト、餘ホド大キナ權力ヲ持ツモノデ、殆ド債權ニ屬スベキ權力ノ全部ヲ持ツテ居ルモノト云フヤウニ見エルノデスガ、サウスルト云フト其少數ノ者ヲ能ク保護シテヤラヌト云フト唯大キナ額ノ社債ヲ持ツテ居ル者ニ左右サレテ仕舞フテ、少數ノ者ガ債權者ト云フ名義ハアルケレドモ、實ハタミ浪ニ打タレテ、アツチニ行キコツチニ行クト云フヤウニ薄弱ニナル懸念ガ起ルデスガ、矢張りソレ位ニ餘ホド廣イ權力ヲ有テ居ルモノト見テ差支ナイデセウナ、此債權者集會ト云フモノハ……

○政府委員(平沼騏一郎君) 總債權者ノ爲ニ行爲ヲ爲スト云フ事柄ニ就テハママ隨分廣イコトハ廣イデス、唯一人ノ債權者ノ爲ニ事ヲスルト云フコトハ是ハ勿論出來マセヌコトニナリマスガ、此各條ニ御下サレテ御調ベ下サレバ分リマス

○穗積八束君 一人ノ爲ト云フ意味ハアリマセヌガ、例ヘバ擔保物ヲ多數ノ債權者ガ持ツテ居ルト云フ時ニナリマスレバ、ママ普通ノ常識ニ見マスレバ、例ヘバ百人中九十九人ガ其擔保ハ要ラナイト云フテ獨リ不安心デアルナラバ、其百分ノ一ノ擔保ハ自分ガ押ヘテ置クコトガ出來ルデコソ社債權者ト雖モ大變安心デアルガ、其五十一人ガモウ要ラナイト云ヘバ後ノ四十人ヤソコラハ不安心デアツテモ、皆擔保ガ無クナルト云フヤウナコトノ場合ヲ想像シテ私ハ言ツタノデス、一人ノ爲ト云フコトハ固ヨリ分ツテ居リマス

○政府委員(平沼騏一郎君) 其御懸念ハ御尤モデゴザイマスガ、先ヅ權利ノ外ニ屬シマスルヤウナコトハ、此法律ノ内デゴザイマスルト八十五條ニ相成ルコトデゴザイマス、此以外ニハ此法案ノ中ニハ先ヅゴザイマセヌ

○穗積八束君 擔保物ヲ増減シタリ擔保ノ目的物ヲ取換ヘタリスルコトガ出來ルモノデスカ、出來マセヌカ

○政府委員(平沼騏一郎君) ソレハ出來マス、ソレハ七十五條ニゴザイマス

○男爵吉川重吉君 唯今ノ御話デ此社債權者ト云フモノハ大分權利ヲ有ツテ居ルト云フコトデゴザイマスガ、或ル他ノ方面ニ向ツテノ社債權者ノ權利、即チ此受託會社ニ向ツテデスナ、段々傳聞イタスコトニ依リマス、此受託會社ノ取締役ト云フヤウナモノ、選任ト云フヤウナコトヲ債權者ニサセルト云フヤウナ規定ガアリハシナイカ、他ニサウ云フ例ガアリハシナイカト云フコトヲ聞キマシテゴザイマスガ、サウ云フコトハ此所ニ無イヤウデゴザイマスナ、ソコ等ハ先刻モ木下サンカラ御話ガアリマシタヤウデスガ、此我邦ノ事情ニ鑑ミテ社債權者ニサウ云フヤウナ權利ヲ與ヘルト云フコトハ主務官廳十分ニ監督シテ居ル方ガ宜シト云フヤウニナツテ居リマス、又他デハ主務官廳トカニ云フヤウナモノ、監督ト云フモノハ日本ホド嚴シクナイデゴザイマセウカ、ソコラハドウ云フコトデゴザイマスガ、伺ツテ

置キマス

○政府委員(平沼騏一郎君) 外國ノ例デスカ

○男爵吉川重吉君 左様

○政府委員(平沼騏一郎君) 勿論、此法案ノ中ニハ社債權者ノ取締役ヲ選任スルト云フコトハ置キマセヌデゴザイマスガ、是ハママ商法ノ規定ニ對シマスル非常ナ例外ヲ設ケマシタモノデ、サウ云フ規定マデ必要ハ無カラウ、サウ云フ考テ社債權者ノ方ハ取締役ノ選任ニ就キマシテハ、喩ヲ容レサセナイコトニ相成ツテ居リマス、外國ノ信託會社ニ對シマスル法律ハ亞米利加ニアリマスガ、チヨット唯今此社債權者ノ方テ取締役ノ選任ヲスル規定ガアリマシタカ、ドウデスカ、取調ベテ申上ゲマス

○男爵吉川重吉君 私ハサウ云フ委シイコトマデ伺フ積リデハ無カッタ、詰リサウ云フコトデモ有リハシナイカト云フコトヲ、チヨット聞キマシタノデゴザイマス、又或ハ日本ノ事情トシテ先刻丁度木下サンガ話シタヤウニ、主務官廳ガ監督ヲ餘ホド外國デハ比較的日本ヨリ嚴シクシテアルヤウナコトニデモナツテ居リマスガ

○政府委員(平沼騏一郎君) 外國ノ事例ハ重モニ亞米利加ニ求メナケレバナリマセヌ、亞米利加デハ隨分此信託會社ニ對スル監督ハ嚴シクヤツテ居リマスヤウデアリマスケレドモ、亞米利加デハ株式會社デアリマスカラ出來マセヌガ、日本ヨリカモ其點ハ制限ガ多イカノ様ニナツテ居リマス

○馬屋原彰君 此五十二條ニ就キマシテ伺ヒタイノデス、五十二條ノ末項ノ此決議權ノコトニ就キマシテハ前回ニモチヨット政府委員ニ質問ヲ致シタコトデアリマス、全ク此末項ハ商法ニ就テ一株ニ付キ一箇ノ決議權ヲ有スト云フ規定ヲ轉載サレタモノト考ヘマスルガ、商法ノ百六十二條ノ規定デアリマスルト云フト、尙但書ガ加ヘテアツテ、十一株以上ノ株主ノ決議權ト云フコトハ定款ニ依ツテ制限スルコトガ出來ルト云フコトニナツテ居リマス、デ此法又ヲ見マスルト云フト、其規定ノ一部モ轉載シテアリマセヌ、是ハ無クテモ無論商法ニ依ツテ出來ルラカト云フノデアリマスガ、又ハ決議權ト云フモノノ制限ハ、此債權者ノ決議ノ上ニハ準用シナイト云フ方ノ目的デハ、除カレタノデアリマスガ、其邊ヲ一ツ伺ヒタウゴザイマス、ソレデドテラニ致シマシテモ其御説明ノ模様ニ依リマシテハ尙御相談ヲ致シタイ申ヒマス

○政府委員(平沼騏一郎君) 此五十二條ノ末項ハ勿論商法ノ百六十二條ト違ヒマスル、商法ノ百六十二條ハ當然準用ト云フコトニハナリマセヌ、商法ノ規定ニハ從ヒマセヌト云フコトニナリマス

○馬屋原彰君 サウスルト、從ハナイト云フノハ詰リ決議權ヲ制限スルノハ此法案ニハ不適當デアルト云フノデ……

○政府委員(平沼騏一郎君) 左様

○馬屋原彰君 其不適當ナリトスル理由ヲ一應伺ヒマス

○政府委員(平沼騏一郎君) 此法又ノ意味ニ就テ唯今御答ヲ致シマシタノデゴザイマスガ、此商法ノヤウニ決議權ノ或ル數以上ノ社債權者ヲ持ツテ居リマスル者ニ對シテ、決議權ヲ制限シタ方ガ宜カラウト云フ考モ起シマシタコトモアリマスルガ、結局先刻尙井サンノ御質問ニ御答イタシマシタ如ク、總社債權者ノ集會ノ決議ト云フモノニ依リマ

シテハ、各社債權者ノ間ニヒドク此利害ノ衝突ト云フコトモ餘計ニ起ルマシ、其點ハ株主總會ノ決議トハ大分趣キヲ異ニスルノデアリマス、商法ノ百六十二條ノヤウナ規定ハ設ケヌデモ宜カラウト云フ、斯ウ云フ考デ置キマセヌデゴザイマシタ、併シ此點モ尙各位ノ御意見ヲ十分ニ伺ヒタイト云フ考デ政府委員ハ居リマス

○馬屋原彰君 此コトニ就キマシテハ私ハ尙政府委員ノ御考デ、絶對的之ヲ商法ノ如ク制限スルノハ宜シク無イト云フ確乎タル御見込ガアリマスレバ、無論私共ハ敢テ主張ハ致シマセヌケレドモ、サリナガラ有ツテモ無クテモ宜カラウト云フコトデアレバ、矢張り商法ノ第百六十二條ノ但書以下ノ規定ト云フモノハ轉載サレタラ宜カラウカト思ヒマスガ、此コトニ就キマシテハ、何レ此各條項ノ決議ノ際ニ當リマシテ、更ニ政府委員ニ御相談ヲシ、各委員ノ意見モ聞イテ其上テ決定スルヤウニ致シタイ、ドウツ其御積リデ……

○富井政章君 一ツ小サナ點ニ就テ伺ヒタイノデスガ、第四十九條ノ第二項ニ「前項ノ請求ヲ受ケタル者カ其ノ請求アリタル後二週間内ニ」云々トアリマス、此「請求アリタル」ト云フノハ無論受信者ニ依テ、請求ヲ受ケタル時カラ計算スル趣意デアリマスカ  
○副委員長(松岡康毅君) 如何デゴザイマス、モウ五十五條ノ所マデニハ御質問ハゴザイマセヌカ

○小松原英太郎君 次へ移ッテ戴キタイ  
○木下廣次君 六十七條マデヤツテ任舞ッテハドウデゴザイマセウ  
○副委員長(松岡康毅君) ソレデハ御奮發ヲ願ッテ六章ノ終リマデ……  
○平山成信君 チョット小サイ事デアリマスガ、六十二條デアリマス、此費用ノコトデゴザイマスガ、受託會社又ハ社債ノ總額ヲ引受ケタ者ガ集會ヲ招集シマシタ場合ニハ、其費用ハ委託會社ガ出スノデアリマスカ

○政府委員(平沼騏一郎君) 此場合ニ於キマシテハ信託契約ノ效力ト云フ所デ委託會社ノ負擔ニ歸スル……  
○平山成信君 サウスルト例ヘバ債權者ノ利益ノ爲ニ招集シタ場合デモ、矢張り總テ委託會社ガ出サンケレバナリマセヌカ

○政府委員(平沼騏一郎君) サウデゴザイマス  
○富井政章君 第六十四條第三項ノ規定ニ就テ、先刻第五十二條第一項ノ規定ニ關シテ伺ッタヤウナコトヲ伺ヒタイ、債權者ト云フモノガ數人アル場合ニハ、其過半數ヲ以テ之ヲ決ストアル、是モ私ハ何ダカ簡略ニ過ギテ、一致ヲ要スルト云フ方ガ宜クハ無イノカト云フ感シガ起ルノデアリマスガ、是ハ五十二條トノ權衡モアリマスカラ強テハ主張イタシマセヌガ、此代表者ト云フモノハ先ヅ三人カ多クテ五人グラ井ノモノデアラウト思ヒマス、其クラ井ノ四五人ノ者ガ廣大ナル權力ヲ持ツコトニナル譯デアリマスガ、一致ノ方ガ宜クハ無イカト云フ感シガ起ルノデアリマスガ、是モ強イ確信ヲ以テ斯ウ無クテハナラヌト云フコトデアリ極メニナッタノデアリマセヌカ

○政府委員(平沼騏一郎君) 此點モ御尤モナ御質問デアリマス、此點モ考ヘテ見マタノデス、成ルホド數モサウ餘計ゴザイマヌノデアリマスカラ、一致ト云フコトニ致シマシテモ左ホド不都合ノ無イヤウニモ考ヘマスガ、併シドウニモ一人不同意アル爲ニ實ハ行ハレヌト云フコトニナリマシテモ隨分困ルデアラウト云フ、斯ウ云フ考デ矢張り五十二條ト

同シヤウナ趣意カラ致シマシテ、斯ウ云フ簡略ノ規定ニ致シマシタノデス  
○穗積八束君 此六十四條アタリニハ社債權者集會ニ代ツテ、事ヲ議決スベキ者ヲ指シテ代表者ト仰ッシヤルノデスカ  
○政府委員(平沼騏一郎君) 是ハ其代表者ハ社債權者集會ノ代表者ニハナリマセヌ考デアリマス、總社債權者ノ代表者ニナル積リデス

○穗積八束君 併シ社債權者集會テ決議スベキ事ヲ此數人ニ任カシテ任舞フト云フノデスナ  
○政府委員(平沼騏一郎君) 左様デス  
○穗積八束君 法律デハ社債權者ノ代表者ト云フノデモ實際ハ社債權者集會ノ代表者ト云フノデスナ

○政府委員(平沼騏一郎君) 左様デス  
○穗積八束君 ドウモ此點ニ付キマシテハ、チョット我々モ初メテ聽イタ者ニハ疑ガ多イコトデアリマスカラ、私ドモハ修正說ヲ出ス積リモアリマセヌガ、併シ平沼サンノ方デモ何か折衷ノ御考デモ付クガドウカト云フコトハ次ノ會マデニテモ尙御考ヘテ願ヒタイヤウニ思フノデアリマス、畢竟此信託會社ヲ起スナドト云フコトハ性質上多少、多數ヲ以テテ少數ヲ壓スルト云フコトガ無クレバ便利ガナイ、便利ヲ希望スルトキハ、ドウシテモ斯ウ云フ風ナモノニナラナケレバナラヌト云フヤウナコトデアリマセウケレドモ、ソコガ程度問題デアル、連モ千人モ万人モアル社債權者ノ中デ一人カ二人ガ頑張ルガ爲ニ始終事ガ出來ヌト云フヤウナコトヲ居ッテハ此信託ノ新ナナ制度ヲ設ケル趣意ノ上カラ、ソレハ素ヨリ多數ノ壓制デアレバ事ガ簡便ニ行クト云フコトハ是ハモウ承知シテ居リマスガ、何ツ其御考ガ付カヌモモアリマセウカ、ソコハドウカ御考ヘテ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(平沼騏一郎君) 其點ハ尙考ヘマシテ此次ノ委員會マデニ御答ヲ致スコトニ致シマセウ  
○委員長(子爵岡部長職君) モウ十二時ハ過ギマシタガ、マダ大分殘ッテ居リマスカラ、ソレナラバ今日ハ是テ終ルコトニ致シマス、明後六日月曜ノ午前十時カラ御集リヲ願ヒマス、本會議ガアリマシタラ散會後ト云フコトニ致シマス、無カッタラバ十時、別ニ今日御出デニナリマシタ諸君ニハ御通知ハ致シマセヌ

午後零時五分散會  
出席者左ノ如シ  
委員長 子爵岡部 長職君  
副委員長 松岡 康毅君  
委員 子爵新莊 直陳君 名村 泰藏君  
小松原英太郎君 男爵吉川 重吉君  
馬屋原 彰君 富井 政章君  
菊池 武夫君 穗積 八束君  
政府委員 大藏省參事官 塚田達二郎君 司法省參事官 平沼騏一郎君

貴族院擔保附社債信託法案特別委員會議事速記録第二號正誤  
頁 段行 誤 正  
一 二 上 二四 二十四圓 二十圓